



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場会社名 日本ホスピスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7061 URL https://www.jhospice.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 加藤 晋一郎 TEL 03-6368-4154
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	1,947	—	183	—	125	—	105	—
2018年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 105百万円 (—%) 2018年12月期第2四半期 -1百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	14.43	14.26
2018年12月期第2四半期	—	—

(注) 2018年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年12月期第2四半期の業績及び2019年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	3,713	789	21.1
2018年12月期	3,313	363	10.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 784百万円 2018年12月期 357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,251	41.0	515	112.4	407	205.0	312	109.1	42.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 2 Q	7,444,000株	2018年12月期	7,094,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	一株	2018年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 2 Q	7,277,701株	2018年12月期 2 Q	7,094,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料（P 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を、和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 市場環境

当社グループの事業に関わる医療・看護・介護の環境につきましては、高齢者の増加と共に市場が拡大し需要が増加する一方で、社会保障費の抑制を目的として、病院を中心とした施設から在宅を中心とした医療へのシフトが進み、医療と介護の連携や地域単位でのケア体制の整備等が促進されると予想しております。

② 2019年4月～6月におけるホスピス施設の状況

当社は「すべては笑顔のために」というコーポレートスローガンを掲げ、在宅での看取りを前提とした、在宅ホスピスの事業を推進してまいりました。当第2四半期連結会計期間においては、「ファミリー・ホスピス東林間ハウス（神奈川県相模原市）」の新規開設により、名古屋市を中心とした中部地区に6施設、東京都及び神奈川県に7施設、合計で13ホスピス施設の体制となりました。

各ホスピス施設の稼働状況につきましては、全体の平均としては概ね堅調に推移しているものの、入居者の方々の病状の進行または変化等は自然なものであるため、ご逝去による退去の時期が重なり、一部のホスピス施設の稼働率が一時的に低下することがありました。

③ ホスピス施設の新規開設と増室、及び今後の施設開設について

当第2四半期連結会計期間においては、2019年4月に「ファミリー・ホスピス東林間ハウス（神奈川県相模原市）」を新規に開設しました。開設に係る初期費用が売上に先行して発生しておりますが、入居者の受け入れは当初計画どおり順調に進んでおります。

また、2019年3月に増室いたしました「ファミリー・ホスピス池上ハウス（東京都大田区）」につきましては、新しい試みとして富裕層向けのホスピスフロアを提供しておりますが、このフロアの入居については、一定の需要があることは確認できているものの、計画に比べてやや時間を要しているものと受け止めております。

なお、2019年11月に予定しておりました名古屋地区でのホスピス新規開設に関しては、新規開設ではなく、「ナーシングホームOASIS北（名古屋市北区）」の増室へと計画を変更しました。増室時期は2019年9月を予定しており、11月から9月へと時期を前倒したことにより、開設に係るマーケティング費用および人件費等が当第2四半期連結会計期間より発生しております。

④ 事業本部および戦略本部の新設

2019年5月20日付の適時開示のとおり、2019年6月1日より、事業規模の拡大に伴うマネジメント体制およびコンプライアンス体制の強化と迅速な意思決定を目的として、事業本部を設立いたしました。また同時に、将来の施設開設に備えた教育制度の構築と、人材の発掘・育成を目的として戦略本部を新設いたしました。

これらの組織変更により、2019年12月期第3四半期以降に予定しておりました教育制度の構築等に関する費用の一部を、当第2四半期連結会計期間より計上しております。

⑤ 設計料売上の計上時期のズレ

当第2四半期連結会計期間に見込んでおりました設計料売上の計上時期が、2019年12月期第3四半期以降に変更となり、これにより計画と比べて売上高に差異が生じております。

⑥ 事業子会社の繰越欠損金に対する繰延税金資産を計上

当第2四半期連結会計期間において、カイロス・アンド・カンパニー株式会社の繰越欠損金に対して繰延税金資産を一定額計上しました。これは、前連結会計年度末において不確定だったカイロス・アンド・カンパニー株式会社の課税所得見込みにつき、当第2四半期連結累計期間の実績より、課税所得を見込める基盤が出来たと判断したためです。この繰延税金資産の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益が良化しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、1,947,330千円となりました。利益に関しては、営業利益が183,986千円となったものの、支払利息等の営業外費用59,236千円を計上した結果、経常利益は125,436千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は105,081千円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

当社グループは、在宅ホスピス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,713,361千円となり、前連結会計年度末に比べて399,763千円増加しました。これは主に、現金及び預金が348,429千円、売掛金が60,309千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,923,478千円となり、前連結会計年度末に比べて26,418千円減少しました。これは主に、未払費用が29,989千円、預り金が24,377千円増加した一方で、長期借入金が53,080千円、固定負債のリース債務が12,859千円、未払金が7,390千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は789,883千円となり、前連結会計年度末に比べて426,182千円増加しました。これは主に、株式上場に伴う公募増資を実施したことにより資本金及び資本剰余金がそれぞれ161,000千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は21.1%となり、前連結会計年度末の10.8%に比べて10.3ポイント増加しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年3月28日に公表した「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」別添「平成30年12月期 決算短信」に記載した通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本日付で「第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を公表しておりますので、合わせてご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	386,188	734,617
売掛金	530,370	590,680
その他	32,760	36,692
流動資産合計	949,318	1,361,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	81,970	82,486
機械装置及び運搬具	11,292	11,193
工具、器具及び備品	59,993	61,425
リース資産	1,583,539	1,583,539
建設仮勘定	104	13,515
減価償却累計額	△190,856	△225,225
有形固定資産合計	1,546,045	1,526,934
無形固定資産		
のれん	621,671	593,735
その他	5,587	4,908
無形固定資産合計	627,259	598,643
投資その他の資産		
繰延税金資産	6,983	30,894
その他	183,991	194,898
投資その他の資産合計	190,975	225,793
固定資産合計	2,364,279	2,351,371
資産合計	3,313,598	3,713,361

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	102,960	104,560
リース債務	24,654	25,360
未払金	41,634	34,243
未払費用	199,951	229,941
預り金	91,967	116,345
未払法人税等	51,100	45,529
賞与引当金	10,472	10,040
その他	24,100	14,602
流動負債合計	546,841	580,623
固定負債		
長期借入金	769,640	716,560
リース債務	1,533,194	1,520,334
その他	100,221	105,959
固定負債合計	2,403,055	2,342,854
負債合計	2,949,896	2,923,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	261,000
資本剰余金	457,806	618,806
利益剰余金	△199,871	△94,988
株主資本合計	357,934	784,818
新株予約権	5,766	5,065
純資産合計	363,701	789,883
負債純資産合計	3,313,598	3,713,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,947,330
売上原価	1,532,398
売上総利益	414,932
販売費及び一般管理費	
役員報酬	44,444
給料及び手当	37,564
賞与引当金繰入額	1,819
法定福利費	10,171
租税公課	34,496
のれん償却額	27,936
その他	74,513
販売費及び一般管理費合計	230,946
営業利益	183,986
営業外収益	
受取利息	1
助成金収入	493
その他	192
営業外収益合計	686
営業外費用	
支払利息	54,500
その他	4,736
営業外費用合計	59,236
経常利益	125,436
特別利益	
新株予約権戻入益	701
特別利益合計	701
税金等調整前四半期純利益	126,137
法人税、住民税及び事業税	44,966
法人税等調整額	△23,910
法人税等合計	21,055
四半期純利益	105,081
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,081

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	105,081
四半期包括利益	105,081
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	105,081

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	126,137
減価償却費	34,505
のれん償却額	27,936
賞与引当金の増減額(△は減少)	△431
受取利息	△1
支払利息	54,500
売上債権の増減額(△は増加)	△60,309
未払金の増減額(△は減少)	△9,367
未払費用の増減額(△は減少)	30,800
預り金の増減額(△は減少)	24,377
その他	△11,942
小計	216,204
利息の受取額	1
利息の支払額	△55,519
法人税等の支払額	△50,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,759
差入保証金の差入による支出	△11,111
差入保証金の回収による収入	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,846
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△51,480
リース債務の返済による支出	△12,153
株式の発行による収入	322,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	258,366
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	348,429
現金及び現金同等物の期首残高	386,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	734,617

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年3月28日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。株式上場にあたり、2019年3月27日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行350,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ161,000千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が261,000千円、資本剰余金が618,806千円となっております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。